

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

# みんなで ともに 乗り越えよう

## 町内で営業を再開しました



### 株式会社ワタナベ

町民の  
皆さんへ

平成31年4月から、こちらで木製家具の製造販売および修理、一般住宅の新築・リフォームの受付を開始しました。

また、浪江町役場の隣にある「まち・なみ・まるしえ」内の店舗では、日用品の販売もしています。ぜひお越しください。

### 株式会社ワタナベ

〒979-1521 浪江町大字権現堂字町場35

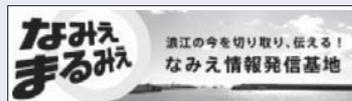
TEL 0240(35)3252 FAX 0240(23)4446

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

## 地域メディア「なみえまるみえ」

浪江のヒト・モノ・コトや歴史、開催されるイベント情報などを発信しています。

「浪江の今」をご覧ください。



URL <https://www.730.media/>

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

ここから下は広告です。



# 町の農林水産業 再生に向けて

農林水産課 農政係 0240(34)0245  
農林水産課 農林水産係 0240(34)0246

## 浪江町内で 田植えの準備が 始まりました

今年度も、町内各地で田植えの準備が始まり、合計約27ヘクタールの水田で水稲の作付が行われる予定です。立野・幾世橋地区では、震災後初め

て実施されます。また、昨年度も水稲の作付を実施していた酒田・菊宿・藤橋・北棚塩地区においては、合計約7ヘクタールの作付面積を、今年度は拡大する予定です。さらに、酒田・北棚塩・立野地区の一部では、従来の「移植栽培(※1)」に加え、「直播栽培(※2)」に取り組み予定です。



種を鉄でコーティングし、「直播栽培」の準備を進める様子

育苗箱で苗を運搬する必要がある「移植栽培」と比べ、「直播栽培」はもみの運搬のみで済むため、作業時間の短縮や資材費の削減など、多くのメリットが見込まれます。「直播栽培」の技術の導入は、帰還して営農再開に取り組み農家が少ない状況を打開する、有望な対策の一つとして期待されます。

## 有害鳥獣から 町を守ります

4月10日、浪江町役場本庁舎において、浪江町有害鳥獣捕獲隊の委嘱状交付式が行われました。

昨年度に引き続き、町は捕

(※1) 育てた苗を水田に植える方法  
(※2) 種を水田に直接まく方法。鳥害被害の防止や浮き苗の発生抑制の効果があり、鉄でコーティング加工した種などが用いられています

獲隊を中心に、有害鳥獣対策の取組を続けていきます。

【平成30年度有害鳥獣捕獲実績表】(単位:頭)

種類	捕獲数
イノシシ	525
アライグマ	104
タヌキ	62
ハクビシン	37
ニホンザル	7
カワウ	17



私たちが守ります

## 農業委員会だより \*第21回\*

### 農業者年金受給者へ ～「現況届」の提出をお願いします～

毎年5月下旬、農業者年金を受給されている方に、独立行政法人農業者年金基金から「現況届」が届きます。

この「現況届」は、受給者の生存、農業の再開・農地の返還の有無を確認するものです。

受給資格の有無の判断に必要な届出ですので、提出が無い場合は、年金の支給が差し止めとなります。忘れずに提出してください。

**農業委員会事務局への提出期限は6月28日(金)です。**

※各出張所への提出も可能です。

また、郵送による提出も受け付けています。

※支給停止事由に該当する場合は、農業委員会事務局にご相談ください。



7月の申請締切日は1日(月)です。

農業者年金事務局(農林水産課内)  
0240(23)5706